

- 管内 オホーツク管内
- 分類 防犯教室 安全マップ 不審者対応訓練 その他（ ）
- 教育課程 教科（ ）科 道徳 総合的な学習の時間 特別活動
- 校種 小学校（低） 小学校（中） 小学校（高） 中学校 高等学校
- 取組のポイント

- 演習を通じた不審者に遭遇した際の実践的な対応力の育成
- 様々な場面を想定することによる日常生活における防犯意識の向上

## 取組の実際

### ねらい

- 学校内外で不審者に遭遇した際の具体的な対応の方法を理解させるとともに、実際に自分の身を守るための行動がとれる対応力を身に付けさせる。
- 不審者対応についての話を聞き、実際の対応についての演習を行うことで、防犯に対する意識を高める。

### 内容

#### 1 不審者対応についての基本知識の教授

警察署員を講師として招き、不審者による事件の事例や対処方法について説明を受けた。

- (1) 不審者に関する情報提供
  - ・全国的な事件事例の紹介
  - ・道内、管内における事例の紹介
- (2) 不審者に遭遇した際の対処方法
  - ・道具の有無による対応の方法
  - ・学校内、学校外における対応の方法

不審者被害は自分にも起こりうる身近な問題であることを理解させる。また、様々な場面や状況を想定させる中で、その場に適切に対応して、自分の身を守ることが求められるということを考えさせる。



警察署員による説明

#### 2 不審者対応の演習

生徒が不審者対応の際の腕の払い方やさすまたの使い方などを体験的に学習した。

- (1) 腕をつかまれた場合の対応
  - ・相手の力を利用した払い方の演習
  - ・予想を外した動きによる払い方の演習
- (2) さすまたの効果的な使い方
  - ・使い方によっては自分を不利にすることを踏まえた正しい使い方の習得

腕の払い方では、生徒同士がペアになって演習をすることで、全員に体験させることができた。力の差がある相手でも、方法によって対抗できることを実感させることができた。



さすまたの使い方の演習

### 成果と課題

- 防犯教室をとおして、自分の身を自分で守るという意識を広くもたせ、特に女子生徒にとって身を守る方法を体験できたことは今後につながる貴重な経験となった。
- 保護者の参加を呼びかけるなど、地域を含めた防犯意識を向上させる取組になるよう、内容を工夫する必要がある。